

熱中症による救急搬送状況（R7. 5. 1～8. 17）について

県内の熱中症による救急搬送人員について、令和 7 年 5 月 1 日（調査開始日）から 8 月 17 日までの状況を取りまとめましたので、その概要を公表します。

○ 令和 7 年 5 月 1 日から 8 月 17 日までの県内における熱中症による救急搬送人員は、710 人（速報値）でした。

○ 年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。

- ・ 年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年の順。
- ・ 初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症の順。

なお、死亡者は 0 名。

死 亡	初診時において死亡が確認されたもの
重 症	傷病程度が 3 週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症	傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽 症	傷病程度が入院加療を必要としないもの
その他	医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

- ・ 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで道路の順。

住 居	敷地内全ての場所を含む
工場、工事現場等	道路工事現場、工場、作業所等
田畑、森林等	田畑、森林、海、川等（農・畜・水産作業の場合のみ）
教育機関	幼稚園、保育園、小・中・高等学校、専門学校、大学等
公衆出入場所〔屋内〕	不特定者が出入りする場所の屋内部分 （例：劇場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場 等）
公衆出入場所〔屋外〕	不特定者が出入りする場所の屋外部分 （例：競技場、各対象物の屋外駐車場、駅（屋外ホーム）等）
道 路	一般道路、歩道、有料道路、高速道路
そ の 他	上記に該当しない項目

○ 直近 1 週間（8 月 11 日～8 月 17 日）における救急搬送人員（速報値）

搬送人員	年齢					傷病程度（初診時）				
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	死亡	重症	中等症	軽症	その他
19	0	0	2	3	14	0	0	7	12	0
発生場所										
住居	工事現場、工場等	田畑、森林等	教育機関	公衆出入場		道路	その他			
				屋内	屋外					
5	2	1	0	0	4	6	1			

県内の熱中症による救急搬送状況(R5～R7)

1 年齢及び傷病程度(初診時) (単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	年齢区分					初診時における傷病程度				
		新生児 (生後28 日未満)	乳幼児 (7歳 未満)	少年 (18歳 未満)	成人 (65歳 未満)	高齢者 (65歳 以上)	死亡	重症	中等症	軽症	その他
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	0	7	96	343	668	4	45	276	761	28
	(構成比)	0.0%	0.6%	8.6%	30.8%	60.0%	0.4%	4.0%	24.8%	68.3%	2.5%
令和6年 (4/29～10/6)	679	0	1	58	195	425	1	16	199	460	3
	(構成比)	0.0%	0.1%	8.5%	28.7%	62.6%	0.1%	2.4%	29.3%	67.7%	0.4%
令和7年 (5/1～8/17)	710	0	1	48	193	468	0	20	228	462	0
	(構成比)	0.0%	0.1%	6.8%	27.2%	65.9%	0.0%	2.8%	32.1%	65.1%	0.0%
[参考] 対R6同期比 (4/29～8/18)	+ 189	+ 0	+ 0	▲ 4	+ 55	+ 138	▲ 1	+ 8	+ 76	+ 107	▲ 1
[参考] 対R5同期比 (5/1～8/20)	▲ 92	+ 0	▲ 5	▲ 17	▲ 55	▲ 15	▲ 3	▲ 13	+ 22	▲ 77	▲ 21

【集計対象】調査期間中に救急搬送した熱中症（疑い含む）の傷病者の人員数

2 発生場所別 (単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	住居	工場、 工事 現場等	田畑、 森林等	教育 機関	公衆出入場所		道路	その他
						屋内	屋外		
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	523	122	41	38	66	131	126	67
令和6年 (4/29～10/6)	679	303	64	20	18	52	83	92	47
令和7年 (5/1～8/17)	710	314	71	16	13	37	90	102	67
[参考] 対R6同期比 (4/29～8/18)	+ 189	+ 77	+ 29	+ 2	▲ 3	▲ 5	+ 25	+ 33	+ 31
[参考] 対R5同期比 (5/1～8/20)	▲ 92	▲ 76	▲ 12	▲ 13	▲ 7	▲ 14	▲ 12	+ 15	+ 27

